

大切な、ご自身の「覚え」をメモしましょう

操明 ひなんのしおり

自宅用の「避難地図」を添付しています

避難の「心得」と「覚え」と「備え」のしおりです

「準備」と「避難行動」と「想定」のくりかえし

地震・津波の場合の心得

最初の1分は、身の安全が第一
あわてず冷静に行動しましょう。

- * ①身の安全を守る ②火の始末をする ③脱出口を確保する
- ④みんなの安全を確認 ⑤出火防止→火が出たら初期消火
- ⑥危険な場合は避難
- * 津波の発生が予想される場合は、すみやかに避難所に避難する。
(添付避難地図にて確認)

風水害の場合の心得

台風が接近してから屋外に出るのは危険です。「気象情報」を良く聞き、事前に対策をとりましょう。素早く行動することが大切です。日頃からの準備を心がけましょう。

防災機関などから『高齢者等避難』『避難指示』があったら、すばやく避難しましょう。

※災害がくる前

- * 風で飛ばされそうな物は固定しておく。
- * 非常用品をまとめて、持ち出し袋にしておく。
- * 避難場所への避難路を確認する。(添付避難地図にて確認)

※災害が接近及び危険がせまったら

- * 台風情報に注意する。
- * 避難の前に必ず火の始末をする。
- * 避難の際は持ち物を最小限にして背中に背負い、両手は自由に使えるようにしておく。

※集中豪雨の場合

避難に時間がかかる場合は、早めに自主的に避難しましょう。



177

気象 警報 注意報

110

事故 事件

119

火事 救急車

単位町内防災会

※本資料は「岡山市防災マニュアル」「くらしの便利帳」等から抜きました。